

日中文化コミュニケーション研究会

中国ではなぜColorを “顔色”と呼ぶ？

—教室で体感した日中文化の“なぜ”—

講師：加藤隆則氏

(中国・汕頭大学長江新聞與伝播学院教授)

日時：2017年7月12日（水） 18:15-19:45

会場：メディア棟608室

司会・コメンテーター：藤野彰

(北海道大学大学院
メディア・コミュニケーション研究院教授)

<加藤氏の略歴>

1962年、東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。86年～87年、北京で語学留学。88年、読売新聞社入社。東京本社社会部で司法、皇室などの担当を経て、2005年7月から上海支局長、中国総局長、中国駐在編集委員を歴任。15年6月に退社後は「独立記者」として特定の政治的立場、利益に与しない中国関連の発信を続ける。2016年9月から汕頭（スワトウ）大学教授。著書に「習近平暗殺計画 スcoopはなぜ潰されたか」（文藝春秋）、「上海36人圧死事件はなぜ起きたのか」（同）、「習近平の政治思想」（勉誠出版）、「習近平の密約」（文春新書）、「『反日』中国の真実」（講談社現代新書）、「中国社会の見えるない掟—潜規則とは何か」（同）など。

問い合わせ先：藤野彰（afujino@imc.hokudai.ac.jp）

主催：北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センター